



セカンドハーベスト名古屋

# SECOND HARVEST NAGOYA PRESS

2016.12.31

NO.7

SECOND HARVEST NAGOYA  
NPO法人 セカンドハーベスト名古屋

発行元 認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋

〒462-0845 愛知県名古屋市長区柳原3-4-2 小菅ビル1F

TEL:052-913-6280 FAX:052-913-6281

E-mail:info@2h-nagoya.org URL:http://www.2h-nagoya.org/

編集/印刷 橋本写植



## 広がる相談窓口との連携

自治体や社会福祉協議会にある相談窓口と連携して、生活に困っている個人へ食品の詰合せを届けています。

### ■概要

日本では、まだ食べられるのに捨てられる食品が年間632万トンも発生しています。その一方、突然のケガや病気などにより働けなくなった方や、地域で孤立して生活に困っている方がいらっしゃいます。セカンドハーベスト名古屋（以下、2HN）では東海地方にある自治体や社会福祉協議会（以下、社協）と連携して、「3日間にも食べていない」「所持金が100円しかない」など緊急で食べ物の支援が必要な方が相談窓口を訪れた場合、相談員から依頼を受け食品パック（お米5kgと缶詰や調味料7～8kg）を届ける活動を行っています。

### ■経緯

生活に困っている方は、家族や親族との繋がりがなく地域から孤立し、様々な支援制度を受けていない等見えない貧困状態に陥っている場合が多くあります。そのため私たちだけでは困っている人がどこにいるか分からず、必要とする方に食品を届けきれませんでした。

そんななか昨年、国が新たな法律を施行して全国約900の自治体に相談窓口がつけられました。この窓口は自治体を中心となり市役所の各課、ハ

### CONTENTS

行政と連携した個人支援	p.1～2
2016年度実績	p.3
パートナー団体紹介	p.4

ローワーク、NPOなどが連携して自立に向けた支援を行っています。自治体では水道料金や税金など公共料金支払いや生活保護の申請窓口があることから、生活に困っている方の情報を把握している場合が多くあります。そのため、この連携によりこれまで2HNだけでは把握することができなかった生活に困っている方へ、フードバンクの食品を届けることができるようになりました。

### 仕組み



### ポイント

- 相談窓口運営団体は配送等に係る実費を負担する。
- 2HN は原則依頼日に依頼者の状況に応じた食品パックを発送し翌日届ける



立野さん

2015年3月より参加

Q: ボランティアを始めたきっかけを教えてください!

A: 退職後に時間ができたので、何か社会の役に立つことをしたいと思い、ボランティアを始めることにしました。2HN を選んだのは、正直あまり積極的な理由ではなく「平日」の「定期的な活動」の条件だと、該当するのが 2HN だけで (笑)。

Q: 活動を始めて率直にどう思いましたか?

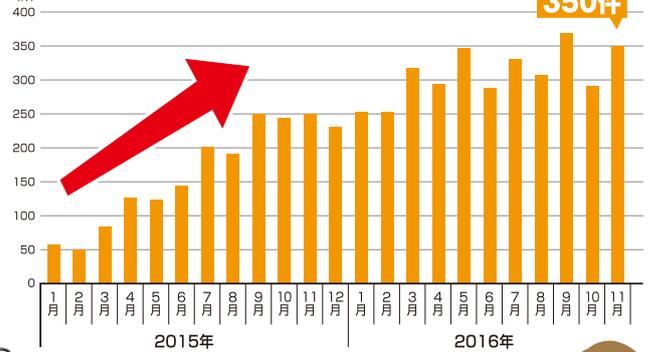
A: 報道などで生活に困っている方の存在は知識として知っていましたが、食品パックを日々多くの方に送らなければいけない状況は最初信じられませんでした。また、食品を詰める際、ライフラインがない場合など、何を詰めたらいいのか分からず戸惑うことも多かったです。

### 効果と広がり

食品を受け取ることで単にお腹がいっぱいになるだけではなく、気力・体力が回復し、食費を削減できる効果があります。さらに、相談員にとっては、話を聴くだけでなく即効性のある食の支援が行えることで、相談に来た方との信頼関係を構築することができ、自立に向けた支援が有効に行える効果もあります。

これらの有効性が相談窓口で認識され、当初は50件/月程度であった食品パック発送件数が、現在では東海地方にある91団体と連携し350件/月にまで広がっています。

### 食品パック発送件数の推移



### ボランティアスタッフインタビュー

Q: 最初は苦労されたかと思いますが、活動をする中で何か立野さんの中での変化はありましたか?

A: 様々な事情を抱え生活に困っている方がいることを目の当たりにし、「同じ一つの箱を送るのであれば、よりよいものをよりたくさん届けたい」と考えるようになりました。受け取る方の暮らしや気持ちをできるだけ想像するように心がけています。育ち盛りの子どもがいれば炭水化物系を多くしよう、高齢者だと固いものや脂っこいものは避けようなど、限られた在庫の中で食品を詰めるのは難しいですが、面白いですね。



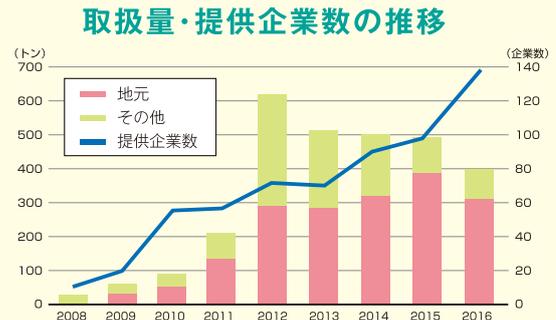
相談窓口からの依頼書を熱心に読み込んで、食品パックを悩みながら真剣に作られている作業が印象的な立野さん。今後ともよろしくお願ひします!

## 2016 年度実績 ※2016 年度実績は、2016 年 1 ~ 11 月までの実績に基づく推計値。

### ■取扱量

2016年度は、138団体・企業からいただいた食品約400トンが必要とされる方々にお届けしました。これは小売価格に換算すると、約2.4億円分に相当します。近年では1社あたりの提供量は減少傾向にあり、16年度は昨年よりも取扱量が減少しました。しかし、提供企業・団体数自体は、15年100社から16年では138社まで増加しました。

また、冷蔵の肉・乳製品、冷凍の肉・魚などこれまでニーズはあったものの取扱が少量だったタンパク源となる食品の取扱も開始しました。来年度以降、配布先の方々のニーズにあった食品を十分な量を取り扱えるよう、新規提供企業開拓などを積極的に取り組む予定です。



### ■配 布

2016年度は、主に東海地方にある186団体へ食品を配布しました。各団体の支援対象者の方は平均50名程度のため、これは約1万人の方へ食品をお届けしたことになります。また、前述の通り行政と連携した個人支援事業が本格化し、支援件数は15年1,954件から16年約3,700件まで大きく伸びました。これによって、東海地方の生活に困っている延べ約2,700世帯に食品をお届けすることができました。

#### 団体支援事業

野宿生活者支援団体や児童養護施設など各種福祉施設・団体へ食品を届ける活動

年間約190団体へ支援  
約1万人に食品をお届けしました。

#### 個人支援事業

前述の行政と連携して生活に困った個人(世帯)へ食品を届ける活動

年間約3,700件の支援  
約2,700世帯に食品をお届けしました。

### ■会員数

正会員71名／賛助会員47名・団体

正会員のうち約30名の方々にボランティアとして、日常の活動を担っていただいております。

ボランティアの年代は20~70代と様々ですが、主に定年退職したシニア世代や子育てが一段落した主婦の方々が多くいらっしゃいます。

## 新たな取り組み:フードドライブ

●フードドライブとは?…家庭で余っている食品を学校や職場に持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクに寄付する活動

まだ食べられるのに捨てられる食品は、年間632万トンに上りますが、そのうち約半数は家庭から出ているとされています。フードドライブは、食品を集めることだけが目的ではなく、多くの方に食品ロスやフードバンクについて知る機会でもあり私たちは考えています。2016年度は、行政や企業と連携してフードドライブを実施することができました。フードドライブ実施に興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

#### 【行政との連携】

愛知県内では、名古屋市や江南市と連携して、市主催のイベントでブース出展し、市民の方に食品を持ち寄っていただきました。三重県では、県の社会福祉協議会が「食品をもらうだけでなく、集めることも協力しよう!」と県内各地の社協と連携し、約3トンもの食品を集めていただきました。



名古屋市主催のイベントでブース出展し、食品を募りました

#### 【企業との連携】

2HNに食品を提供いただいている企業との新しい形での連携も進んでいます。株式会社ドール様は、定期的にバナナを2HNに寄付いただいております。今回は、ご担当者様が社内でフードドライブを実施していただき、集まった食品を事務所にお送りいただきました。



ドール様より送っていただいた食品の一部



特集

## 母子生活支援施設



「母子生活支援施設」をご存じですか?「母子生活支援施設」とは、18歳未満の子どもを養育している母子家庭(離婚の届け出ができない場合なども含む)が、子どもと一緒に利用できる施設で、全国に243か所あります(H26年10月)。

今回訪れたのは、私たち2HNが食品をお渡ししている名古屋市内の母子生活支援施設。マンションのような形態で、各居室にキッチン・風呂などがあり、20世帯のお母さん・子どもたちが暮らしています。施設へ入居する理由はドメスティックバイオレンスが最も多く、この施設では約7割にも上るそうです。



週に一度、施設職員の方が食品の引取りに来ていただき、各家庭へ橋渡しをさせていただきます。食品を施設に持ち帰り、品目や数を確認の上、施設の玄関に並べておくと、お母さんたちは各食品をお部屋に持ち帰っていきます。職員の方々はどんな点に気を付けていらっしゃるのでしょうか?「不平等感が出ないように気を付けていますね。例えば、パンは食パン・菓子パンありますが、同じ種類のものが世帯分もらえるわけではありません。各家庭の好みや子

供の数・年齢、お母さんの就労状況・帰宅時間もそれぞれ。そのため、パンは玄関に並べるのではなく、事務所でお母さんたちと職員がお話をしながら、渡しています。他には、キャベツを一玉単位で届いた場合には、1/2と1/4カット両方を用意し、お母さんが適したものを選択できるようにしています。」

最後に、2HNの食品はこの施設の利用者の方にとって、どんな意味を持つのか教えていただきました。

最後に、2HNの食品はこの施設の利用者の方にとって、どんな意味を持つのか教えていただきました。

最後に、2HNの食品はこの施設の利用者の方にとって、どんな意味を持つのか教えていただきました。



「この施設にいるお母さんたちは、様々な事情があってここに至っています。仕事に就けなかったり、子どもが小さいため非正規雇用だったり、最低限度の生活を送っている方がほとんどです。2HNの食品によって、その分の食費を貯金に回すことができるので助かっています。また、お菓子や果物など、子どもに食べさせてあげたいけど買えないものも多く、利用者の方に喜ばれていますよ。」とありがたい言葉をいただきました。

2HNの食品の特性を理解し、お母さんたちのことをきめ細やかに考えている職員を通じて、食品がお母さんや子どもたちに届いていることを改めて知ることができました。

### フードバンク活動へ寄付のお願い

セカンドハーベスト名古屋は認定NPO法人です。一定の要件を満たし自治体から認定された認定NPO法人への寄付は、企業・個人ともに税制上の優遇措置を受けることができます。

銀行振込

口座 座：三菱東京UFJ銀行  
栄町支店 普通口座  
口座番号：0015287  
口座名義：特定非営利活動法人  
セカンドハーベスト名古屋

### 春日井製菓様より寄付金をいただきました

食品の寄付だけではなく、食品を必要とする人へ届けるための運営資金面においても継続的な支援を新たにいただけることになりました。企業として



フードバンクへ協力することは、「社会貢献」「廃棄コストの削減」のみならず「税制上の優遇措置」というメリットもあります。